

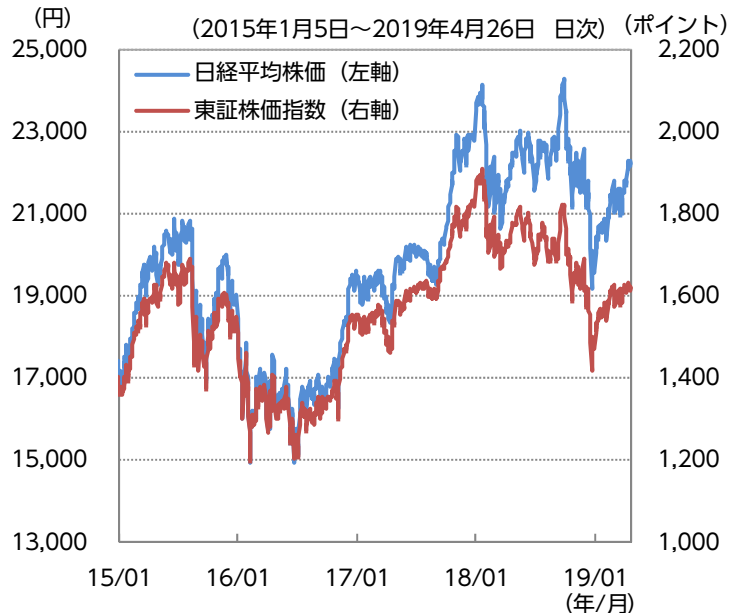
週間市場レポート

(2019年4月22日～5月3日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

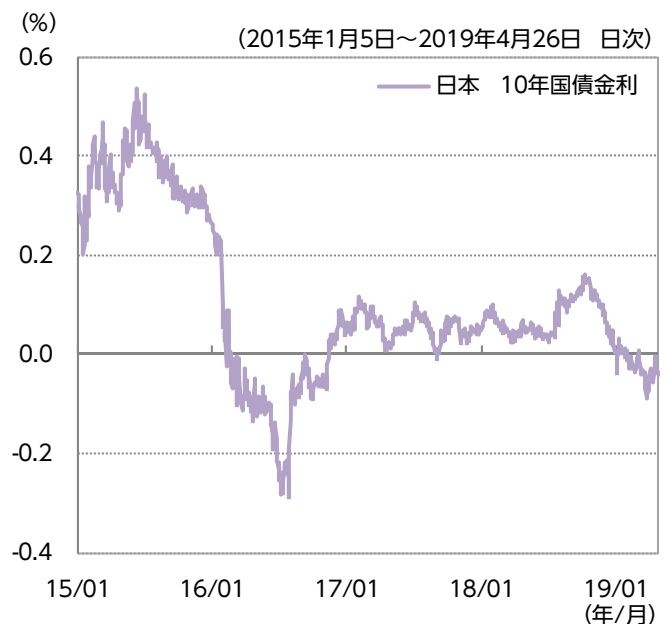
- 日本株式市場（日経平均株価）は、4月19日比で上昇しました。日米主要企業の決算発表の本格化と国内の10連休を控え、様子見ムードが高まり積極的な売買はなく、週を通じて一進一退の展開となりました（4月26日 引け値：22,258.73円）。
- 週間では、日経平均株価は0.26%の上昇、東証株価指数は0.06%の上昇でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 日本債券市場（10年国債金利）は、4月19日比でほぼ横ばいとなりました。日銀による大規模金融緩和の継続が決定されると、目先の材料出尽くし感から売りが優勢となりました（利回りは上昇）。週末は、国債買い入れオペが債券需要の強さを示す結果となり、買いが優勢となったことから（利回りは低下）週間ではほぼ横ばいとなりました（4月26日 引け値：-0.040%）。
- 週間では、0.010%の低下となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 米国株式市場（NYダウ）は、4月18日比で小幅に下落となりました。市場予想を上回る企業決算と中国景気の減速懸念がきつ抗し、一進一退の展開となりました。5月に入り、米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果から早期の利下げ期待が後退し、売りが優勢となったものの、週末は堅調な雇用統計を受け前日比で上昇となりました。（週末（5月3日）引け値：26,504.95ドル）。
- NYダウは4月18日比で0.21%の下落となりました。

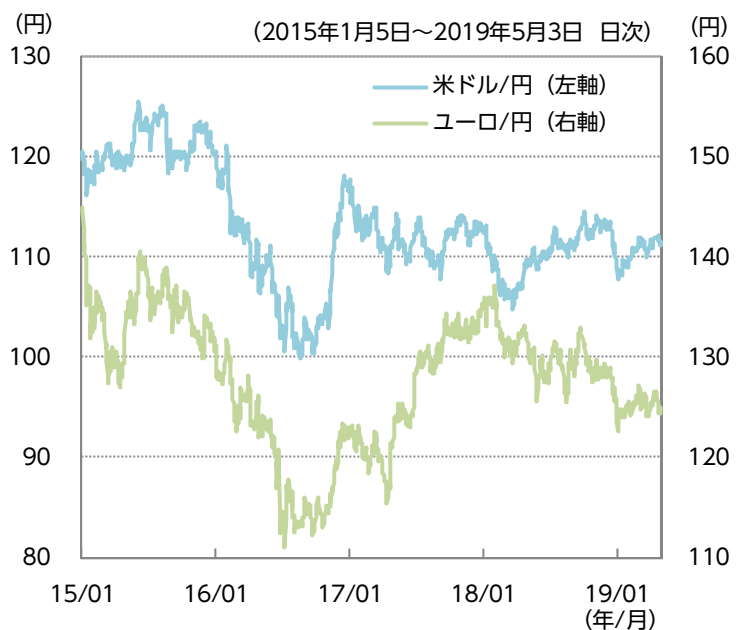


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 米ドル/円相場は、4月19日比で円高米ドル安となりました。10連休前は、短期筋の対米ドルでの円売り持ち高を手じまう目的の円買いが優勢となりました。5月に入り、FOMCを受け利下げ期待が後退し、やや円売り米ドル買いが進行したものの、週末は雇用統計後の金利低下を背景に円買い米ドル売りが優勢となりました（週末（5月3日）引け値：111円05銭～15銭）。
- 4月19日比では、米ドル/円は0.73%の円高、ユーロ/円は1.09%の円高となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>